

奈井江商業高等学校
活性化支援事業
検討資料

奈井江 商業高校活性化支援事業の経過

●学校活性化支援事業は、平成14年度から支援開始。平成23年度から支援項目を増やし、平成27年度に大幅に拡充 (単位：千円)

	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R元	R2
広報活動費	391	506	263	543	232	212	188	201	204	219
パンフ・PRポスター等経費	197	288	213	265	179	179	162	175	174	186
学校PR活動ほか	91	144	0	196		1				
体験入学他経費（生徒確保旅費含む）	103	74	50	82	53	32	26	26	30	33

保護者等 経済支援		755	1,943	2,428	2,144	10,307	12,055	12,657	9,865	11,448	7,915
下宿生 補助 (やすらぎの家ほか)	町費	12	735	920	670	0	693	156	20		
	自費						40	120	120		
トレーニングウェア代 補助		379	305	330	142	527	461	443	367	442	291
制服代 補助						1,564	1,409	1,297	1,042	1,284	852
通学費 補助 H23 1/2 → H27 全額		364	903	1,178	932	3,216	5,092	6,461	5,036	6,122	6,772
入学支援金（各個人への補助金）				400	5,000	4,400	4,300	3,400	3,600	0	

H26：奈中卒業生に10万円 H27～奈中卒業 20万円、町外 10万円

生徒スキルアップ支援		541	576	559	698	609	564	1,105	787	1,002	1,116
教育フェア参加費		118	133	124	135	70	70	78	0	74	81
チャレンジオータム参加費		111	36	43	0						
イベント参加費		36	56	57	129			5	12	18	25
ワープロ競技大会		56	69	83	123	73	40	69	64	44	120
検定料補助（3種目→H275種目）		119	171	117	117	270	264	315	213	219	283
学力向上・人材育成（英国数の学力テスト、看護・公務員模試）								482	346	445	414
教育の明日を考える集い運営費		101	111	135	194	196	190	156	152	202	193

合 計		1,687	3,025	3,250	3,385	11,148	12,831	13,950	10,853	12,654	9,250
------------	--	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------

H 23 H 24 H 25 H 26 H 27 H 28 H 29 H 30 R元 R2 (単位：人)

入学者内訳	情報処理科	20	16	23	5	40	35	34	26	32	21
	商業科	11	9	4	6						
合 計	31	25	27	11	40	35	34	26	32	21	
うち奈中生	12	3	15	4	10	10	9	8	4	8	
	39%	12%	56%	36%	25%	29%	26%	31%	13%	38%	

平均 入学者数	28 人	11 人	40 人	35 人	29 人	21 人
---------	------	------	------	------	------	------

年 度	入 学 者 数					支 援 内 容
	総数	情報	商業	奈中生	奈中の比率	
H 14	48	22	26	11	23%	150千円 学校案内パンフレット・印刷消耗品関係
15	36	21	15	10	28%	300千円 //
16	45	21	24	6	13%	// //
17	53	29	24	10	19%	// //
18	62	37	25	17	27%	600千円 学校広報・生徒確保活動、産業フェア・部活動の参加費と交通費
19	52	25	27	13	25%	// //
20	48	24	24	9	19%	// 教育の明日を考える集い（H21まで講演なし）
21	59	41	18	26	44%	// 学校広報・生徒確保活動、空知フェア・ワープロ大会 参加費用、
22	40	22	18	10	25%	932千円 「教育の明日を考える集い」講師料ほか

令和2年度 奈井江商業高等学校活性化支援事業申請

申請額 9,250千円

- ・新入学者 21名
- ・2年生 27名
- ・3年生 19名

予算額 10,019千円

差額 ▲ 769千円

(単価：千円)

科 目	予 算 額	積 算 内 訳
● 生徒確保活動費	1,840	
① 新入学生トレーニングウェア代補助	291	ジャージ上下 21名分 (@13,857円)
② 新入学生制服代補助	852	制服 21名分 (男子13名@36,400円 女子8名@47,325円)
③ 各種検定受験料補助	283	1年生 (21名) 全商珠算・電卓検定3級 42 全商簿記実務検定3級 27 全商情報処理検定3級 27 小 計 96 2・3年生 (1) 全商検定 (7種目) 全商簿記実務検定1級 10名 13 全商珠算・電卓検定3級 40名 40 全商ビジネス文書検定1級 5名 6 全商情報処理検定1級 30名 54 全商情報処理検定(プログラミング) 2級 27名 40 全商英語検定1級 2名 2 全商商業経済検定1級 2名 3 (2) 日商検定簿記検定2級 1名 5 (3) ITパスポート(国家資格) 1名 6 (4) 実用英語検定 準1級 1名 7 2級 1名 6 準2級 1名 5 小 計 187
④ 学力向上・人材育成補助	414	全校生徒対象 学力診断テスト(英・国・数3科目) 169 学力診断テスト(英・国・数3科目) 122 希望生徒 進研模試ベネッセ 2名×3回 21 全統模試河合塾 2名×3回 32 全統センター試験プレテスト河合塾 2名 10 看護模試 (3年生用) 看予備 1名×5回 17 看護模試 (2年生用) 看予備 1名×3回 8 校務員模試 (予算の執行状況に応じて検討) 小論文模試 2名×4回 17 特別講習会の実施に係る教材費 18

科 目	予 算 額	積 算 内 訳
● 学校PR活動費に係る積算内訳書	638	
① 商業教育フェア参加経費	81	商業教育フェア：札幌2泊3日 生徒参加経費 (交通費+宿泊費) * 2泊 * 5名 77 販売物品運搬経費等 4
② 全道ワープロ競技大会新人競技大会参加経費	120	ワープロ競技大会：札幌1泊2日 学校負担金 4 参加料 5 振込手数料 1 生徒参加費 (交通費+宿泊費+捕食費) * 5名 61 小 計 71 商業実務ワープロ協議新人大会：野幌2日間 参加料 5 振込手数料 1 生徒参加費 ((交通費 * 2回) + (捕食費 * 1回)) * 2回 * 5名 33 物品運搬経費等 10 小 計 49

科 目	予 算 額	積 算 内 訳
③ 地域連携事業協力経費	25	奈井江町商工会との連携事業協力経費 手伝生徒昼食等 5人 (5回分) 25 内訳：桜まつり、芝桜まつり、ふれあいまつり ないえ産業まつり、奈井江冬まつり
④ 教育の明日を考える集い経費	193	講演会講師謝礼負担分 (振込手数料含む) 181 講演会等諸経費 (講師弁当代・花束・飲み物代) 8 生徒発表捕食費 4人分 4
⑤ 生徒確保中学校訪問旅費	28	管内・管外校長学校訪問旅費 (交通費) 管内22校、管外8校 28
⑥ 学校案内パンフレット作成費	186	生徒募集チラシ製作費24,000枚 (新聞折込経費含む) 186
⑦ 体験入学経費	5	中学校体験授業用材料等購入経費 文書デザイン体験授業用ラベル用紙購入 5

科 目	予 算 額	積 算 内 訳
● 通学費補助	6,772	
通学費補助	6,772	新1年生 2,299 14名 2年生 2,880 21名 3年生 1,593 12名

○ 管内卒業生数状況・見込み

↓ 赤平高校 閉校

卒業生数	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
空知 南	1,602	1,528	1,489	1,487	1,382	1,304	1,272	1,280	1,195	1,126	1,123	1,098	1,124	1,000	1,053	1,042
空知 北	1,308	1,255	1,209	1,194	1,187	1,147	1,125	1,029	1,002	929	848	894	847	820	800	811
計	2,910	2,783	2,698	2,681	2,569	2,451	2,397	2,309	2,197	2,055	1,971	1,992	1,971	1,820	1,853	1,853

H16 砂川北・南 統合

↑ 美唄高校と工業高校 統合 (尚栄高校)

減少数 9年前 △855 人

5年後 △202

H18 歌志内高校 閉校

減少率 " △29%

15年間 △1,057

△36%

○ 奈井江町生徒の主な進路状況 (各年度における入学内訳)

過去5年間の人数(H28~R2)

主な進路先		H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	↓	間口数	備 考
奈井江 商業	商業科	2	1	3	1							↓	1	(H27 商業科減)
	情報処理科	10	2	12	3	10	10	9	8	4	8	↓		
	小計	12	3	15	4	10	10	9	8	4	8	39		
滝川高校	4	7	6	7	12	10	10	12	8	7	47	6	R3 ▲1	
滝川西高校	13	13	19	15	9	13	12	8	12	9	54	6	H30 ▲1	
滝川工業高校		1		1								2	H23 ▲1	
砂川高校	8	16	6	11	2	5	3	3	4	2	17	2	H27 ▲1・H31 ▲1	
新十津川農業						2					2			
美唄尚栄		3	2	1	3			1	1	2	4	2	H26 ▲ H29 ▲1	
美唄聖華					1		1		1		2			
岩見沢農業				2	3		1	1	3		5			
岩見沢緑陵			4	1	7	1	4		1		6	5	R2 ▲1 普通3・商業2	
岩見沢東	5	3	4			2	4	3	5	1	15	5	H27 ▲1	
岩見沢西		1	1	3	6		1	4		2	7	3	H31 ▲1	
三笠高校		1												
深川西					1	1						1		
その他 管内		2		1	1	3						3		
管外 (公立)	2		1	4			4	1				5	滝川西高 間口内訳 普通3、情報マネジメント3 (H30新設)	
管外 (私立)	2	3	3	2	7	3	4	2	6	2	17			
養護学校等	2	1		1	1	2	2	1		1	6			
進学以外		1	1					1			1			
計	48	53	62	52	62	49	55	45	45	34	228			

○ 奈井江町の生徒が通う主な高校への自治体支援

奈井江商業高校	滝川西高校	滝川高校	砂川高校
※ 制服・トレーニングウェア代補助 ※ 各種検定受験料補助 ※ 学力向上・人材育成補助 ・ 講習用テキスト、模試費用 ※ 高校PR活動補助 ・ 商業教育フェア参加経費 ・ ワールド大会参加経費 ・ 地域連携事業経費 ・ 教育の明日を考える集い ・ 生徒確保中学校訪問経費 ・ パンフレット経費 ※ 通学費	なし ※卒業後、市内 國學院短期大学への入学に対し、1年間の授業料に相当する額の奨励金制度あり	なし	※ 4年生大学 入学者への奨学金 ・ 国公立30万 その他10万 ※ 大学受験模試費用助成 (1/2) ※ 公務員・看護模試 受験費用助成 ※ 予備校 学習費 ※ 大学見学車両経費 ※ 介護職員初任者研修 受験料 ※ 英検・漢検等 検定料補助 (1/2) ・ 合格時 全額補助

【まちづくり検討委員会・各種団体等の意見（町民の意見）】

《継続》

- この施策で生徒が集まったのではないかとと思っているし、昨年、小樽商大に入学者を出すなどの成果もあったのに、廃止には少し早い気がする。
- 奈井江商業高校は、推薦できる大学も結構ありますから、そういうことをしっかりとPRしていくことが必要だと思う。
- 制服代や通学費がかからないから奈井江商業を選ぶ方もいるようです。
- 制服と通学補助金はあったほうがいい。全部やめるとするのはどうかと思う。

《削減》

- 奈井江商業高校支援事業について、商業高校に通う子どもたちや保護者の方たちには良いことだと思うが、卒業後のことを考えた時に、ほとんどの生徒たちが奈井江町以外のところで就職や進学をしていくことになる。せっかく支援しても、町への還元が少ない。
- 奈井江商業高校に自分の子どもを是非入れたいと思う親は、このメンバーの中だけでもあまりいないと思いますし、残したいと思っている世代は、もっと上の世代だと思う。そういうことを踏まえると、これからは入学金ではなく、入ってから魅力ある学校にするため支援にシフトした方が良くないか、ここではいったん廃止でよいと思っている。

《見直し》

- 廃校の危機から救うために始まった助成です。何としても奈井江商業高校を続けていくという意思のもとで組み立てができればいいと思う。人口減少に伴い高校存続も難しくなっていくとは思いますが、いつかはまた必要な助成になるかもしれません。やはり、町としては学校があることが素晴らしい財産であるので何とかして残していきたい。
- 三笠高校は、調理科の設立で成功しているが、設立前は、道立で廃校が決まっていたような感じだったが、当時の市長が市立でも行うとの熱意があり、実現して大きな成果を上げました。調理という特殊な事例ではあるが戦略的に通学補助や入学補助も効果はあるが、それに代わるインパクトのあるようなものがあればいいなと思っている。
- この高校に入った時にどんな資格が取れて、どんな就職ができるのか明確にできると人が集まると思う。
- 卒業の時に祝いという形で何かをするのもいいかもしれない。就職先が必ずある等の支援も考えられるのではないかな。
- 今の施策は、言い方は悪いがバラマキに近い気がする。お金が目当てで奈井江商業高校を選ぶ方がどのくらいいるかを考えるときに、もっと町としての施策に使ったほうが良い。

- 大学進学など上を目指す生徒が多くなり、また、先生方の考え方や熱意が大きなウェイトを占めると思いますし、そういうさまざまなことが好循環になってくると可能性がどんどん広がっていくと思っている。
- プログラミングに特化して、その先の大学や専門学校に繋がるような教育をすると、人も集まって、企業がほしいと思う人材も育成できるのではないかな。
- 子どもが行きたい学校であるべきであり、そこにたまたま助成があってハッピーだということならよいと思う。まずは、子ども達が行きたくなる学校づくりが必要。
- 奈井江商業高校がなくなって何が困るかと聞かれたときに、今はなにも答えられない。それが答えられるような高校でないと存続はできないと思う。
- 今の奈井江商業高校は柱がないと思う。高校を卒業した時に進学先だとか就職先のイメージもできない。この経済的支援は集客効果的なものがあるので、この効果があるうちに柱をつくって次につなげていく必要がある。まちづくりに参加するカリキュラムなんかは他にないと思うし、一つのアイデアとも思う。

《その他》

- 奈井江町の特色を生かした科があればよいのではと思う。子どもが行きたいと思える高校にするのがよいのではないのでしょうか。
- 最近の学生は親を助けたいと思っている子も多く、その思いから自発的に奈井江商業を選択するケースもある。すごく優秀だと思う。
- 高校生がふれあい祭りなどのイベントにもお手伝いをしてもらって、仕事も早いし、素直な子が多い。産業祭でも高校のお手伝いをしてもらえらるともっと盛り上がるし、ふれあいもできる。
- 奈井江商業高校の町立化という話もあるが、そうならないえ温泉の二の前になる可能性があるのでは町立化はやめた方がよいと思う。
- 寮を作って学生が住めるようにして特別支援枠を作るとか、卒業したら役場や住電に入ることができるとかそういう魅力があれば学生もいるのではないだろうか。

《その他の意見》

- ソフト事業だが、補助がなくなると高校の魅力が薄れるということはないだろうか。
- 補助をやめると人が少なくなり廃校に繋がるが、役場はそれでよいのか。
- 高校がなくなると、町を歩く人がいなくなり、駅も無くなるがそれでよいのか。
- 支援を打ち切るとしか聞こえない、他の町村は高校を無くさないように色々しているのに奈井江はそれでよいのか。

【企業関係の意見】

- 必要と思えるスキル
 - ・ 研修を受けながら、マナー・接遇・電話対応などのスキル
 - ・ 画像処理のスキル
 - ・ 英語能力（ドラッグストア、ホテル系からの引き合いが多い）
 - ・ 計算技術（数のセンス：文字的概念、数量的概念の両方）
 - ・ 資格をたくさん持っているのはプラスになる。
（直接影響するものではないが、勉強の仕方を知っていると判断）
- 意欲・人間性
 - ・ 物事への関心（物づくりなどへの興味）
 - ・ 継続力（部活動を通じながら養われた体力・継続性・協調性など）
 - ・ 先輩後輩などの人付き合い
- その他
 - ・ インターンシップの期間が（現在2日間）もっと長いとよいのでは。企業とのつながりもできる。
 - ・ 統計的に工業、商業系の定着率は良い。（ほぼやめない）
 - ・ 企業を知ってもらおうという事からも重要だと思うので、支援があれば良いと思う。
（工場見学会等）
 - ・ 製造業への関心を高める活動。（製造業の人気のないと感じている）